

人文社会科学部 現代語・現代文化専攻（博士前期課程）

現代文化分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DE301	文化生成論IA	2	1.5	1・2	春ABC	火3	人社A721	濱田 真	近現代ドイツ思想において、文化生成の諸問題がどのような観点から論じられてきたのかを考察する。特に言語論・芸術論・歴史哲学に焦点を当てて検討する。	西暦偶数年度開講。02DH301と同一。
01DE302	文化生成論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	火3	人社A721	濱田 真	近代ドイツ思想において、文化生成の諸問題がどのような観点から論じられてきたのかを、啓蒙主義とロマン主義の時代に焦点を当てて考察する。	西暦偶数年度開講。02DH302と同一。
01DE305	文化動態論(1)IA	1	1.5	1・2	春ABC	水3	人社A704	清水 知子	グレアム・ハーマン、プリュノ・ラトゥールらのテキストを中心に、思弁的実在論以後の文化について、哲学、芸術、人類学の交錯する理論的な地平を探ります。	The Building of Humanity and Social Science, Room A704 西暦偶数年度開講。02DH305と同一。
01DE309	文化動態論(2)IA	2	1.5	1・2	春ABC	金6	人社A721	山口 恵里子	イメージ人類学のアプローチを用いた芸術・文化研究の可能性を探る。	西暦偶数年度開講。02DH309と同一。
01DE310	文化動態論(2)IB	2	1.5	1・2	秋ABC	金5	人社A721	山口 恵里子	人間の創造行為を人類学的アプローチから再考する。春学期の議論をふまえて、その議論をみずからの研究に活用する方法論を考究する。	西暦偶数年度開講。02DH310と同一。
01DE313	文化構造論IA	2	1.5	1・2	春ABC	金4	人社A721	佐藤 吉幸	現代文化を理解するための基礎文献を講読し、文化構造の分析に必要な理論を習得する。今年度はナショナリズムに関する基礎的な理論的文献を読解する。文化構造論IBと連続して授業を行う。	西暦偶数年度開講。02DH313と同一。
01DE314	文化構造論IB	2	1.5	1・2	春ABC	金5	人社A721	佐藤 吉幸	現代文化を理解するための基礎文献を講読し、文化構造の分析に必要な理論を習得する。今年度はナショナリズムに関する基礎的な理論的文献を読解する。文化構造論IAと連続して授業を行い、学生と教員との議論を通じて理解を深める。	西暦偶数年度開講。02DH314と同一。
01DE317	文化対照論IA	2	1.5	1・2	春ABC	木4	人社A704	対馬 美千子	異なる文化を照らし合わせることにより見えてくる文化の側面について、主に文学や思想の文献を講読することにより探求する。とくに現代文化の言語に関わる諸現象について様々な角度から考察する。	西暦偶数年度開講。02DH317と同一。 要望があれば英語で授業
01DE318	文化対照論IB	1	1.5	1・2	秋ABC	木4	人社A704	対馬 美千子	異なる文化を照らし合わせることにより見えてくる文化の側面について、主に文学や思想の文献を講読することにより探求する。とくに現代文化の表象に関わる問題について様々な角度から考察する。	西暦偶数年度開講。02DH318と同一。 要望があれば英語で授業
01DE321	文化差異論IA	1	1.5	1・2	春ABC	金3	人社A721	竹谷 悦子	国家の枠組みを超えた環太平洋文化ネットワークをジェンダーの座標軸から読み解く。	西暦偶数年度開講。01DQ057、02DH321と同一。 要望があれば英語で授業
01DE322	文化差異論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	金3	人社A721	竹谷 悦子	国家の枠組みを超えた環太平洋文化ネットワークを人種の座標軸から読み解く。	西暦偶数年度開講。01DQ058、02DH322と同一。 要望があれば英語で授業
01DE325	文化現象論IA	2	1.5	1・2	春ABC	火4	人社A704	江藤 光紀	文化現象のさまざまな現れについて研究する。おもに20世紀以降から現代の欧米、日本の芸術および文化現象を扱う。	西暦偶数年度開講。02DH325と同一。
01DE326	文化現象論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	火4	人社A704	江藤 光紀	20世紀以降から現代の欧米、日本の芸術および文化現象が、どのように現象するのかについて、文献を読みながら討論する。	西暦偶数年度開講。02DH326と同一。
01DE329	文化コミュニケーション論IA	2	1.5	1・2	春ABC	月6	人社A704	武井 隆道	文化をコミュニケーションの総体とみる立場から、ドイツ語圏を中心とするヨーロッパ文化について考察する。今年度は18世紀後半の身体的美意識を、演劇、文学、造形芸術における表現と受容の様相から探る。特にゲーテと舞踊の関係を取り上げる。	西暦偶数年度開講。02DH329と同一。
01DE330	文化コミュニケーション論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	月6	人社A704	武井 隆道	文化をコミュニケーションの総体とみる立場から、ドイツ語圏を中心とするヨーロッパ文化について考察する。今年度は18世紀後半の身体的美意識を、演劇、文学、造形芸術における表現と受容の様相から探る。特にヴィンケルマン、ヘルダー等を取り上げる。	西暦偶数年度開講。02DH330と同一。
01DE337	異文化地域論(1)IA	2	1.5	1・2	春ABC	水2	人社A704	畔上 泰治	ドイツ語圏を中心に、ヨーロッパ地域における20世紀以降の社会・文化を対象に考察し、その現代的意義を探ります。2018年度においては、原題ドイツ社会の諸問題を中心に考察する予定です。	西暦偶数年度開講。01DQ206、02DH337と同一。
01DE338	異文化地域論(1)IB	2	1.5	1・2	秋ABC	水2	人社A704	畔上 泰治	ドイツ語圏を中心に、ヨーロッパ地域における20世紀以降の社会・文化を対象に考察し、その現代的意義を探ります。2018年度においては、現代のドイツ社会における文化共生に関わる諸問題などを対象に考察する予定です。	西暦偶数年度開講。01DQ207、02DH338と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DE345	異文化地域論(3) IA	2	1.5	1・2	春ABC	金5	人社A704	宮崎 和夫	スペイン語で書かれた人文学関係のテキストを読む	西暦偶数年度開講。02DH345と同一。Lectures are conducted in Japanese.
01DE346	異文化地域論(3) IB	2	1.5	1・2	秋ABC	金5	人社A704	宮崎 和夫	スペイン語で書かれた、人文学関係の高度なテキストを読む	西暦偶数年度開講。02DH346と同一。Lectures are conducted in Japanese.
01DE349	異文化交流論IA	2	1.5	1・2	春ABC	水2		馬籠 清子	異なる文化の交差や、異なる学問領域の交差に注目し、分析する。焦点の合わせ方は、授業参加者の興味を反映させながら決定する。	Room: Jinnsha A724 西暦偶数年度開講。02DH349と同一。教室: 人社A724
01DE350	異文化交流論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	水2		馬籠 清子	春学期に引き続き、異なる文化の交差や、異なる学問領域の交差についての分析を発展させる。	Room: Jinnsha A724 西暦偶数年度開講。02DH350と同一。教室: 人社A724
01DE361	科学文化論IA	2	1.5	1・2	春ABC	火4	人社A721	廣瀬 浩司	現代科学の危機の乗り越えに人文学や芸術がどのように役立つのか、徹底的に思考する。	西暦偶数年度開講。02DH361と同一。
01DE362	科学文化論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	火4	人社A721	廣瀬 浩司	現代科学の危機の乗り越えに哲学がどのように役立つのか、徹底的に思考する。	西暦偶数年度開講。02DH362と同一。
01DE365	境域文化論IA	2	1.5	1・2	春ABC	金4	人社A704	中田 元子	19世紀半ばのイギリスの「女性問題」について、当時の新聞、雑誌、文学作品などによって考察する。各自が選んだ題材に注解を付すことによって理解を深める。	西暦偶数年度開講。02DH365と同一。
01DE366	境域文化論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	金4	人社A704	中田 元子	19世紀後半のイギリスにおける女性の職域と移動の自由の拡大について、当時の新聞、雑誌、文学作品などによって考察する。各自が選んだ題材に注解を付すことによって理解を深める。	西暦偶数年度開講。02DH366と同一。
01DE369	イメージ生成論IA	1	1.5	1・2	春ABC	火6	人社A715	吉野 修	現代文化をイメージが生成し消滅する現場ととらえ、言語的表現や映像芸術におけるイメージの諸相とその意義を論ずる。	西暦偶数年度開講。02DH369と同一。
01DE370	イメージ生成論IB	1	1.5	1・2	秋ABC	火5	人社A715	吉野 修	文学作品や現代芸術の作品などを分析対象にして、イメージが生成し消滅するプロセスが表象システムとどのように関係するかという問題を検討する。	西暦偶数年度開講。02DH370と同一。
01DE374	言語文化学IB	2	1.0	1・2	秋学期	集中		廣瀬 浩司	フランス語圏の言語文化の諸問題を幅広く考察する。フランス語文献を使用する。非常勤講師による授業。	02DH380と同一。

言語情報分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DE409	言語情報論IA	2	1.5	1・2	春ABC	木2	人社A704	宮腰 幸一	英語動詞の語彙概念構造とその統語的実現パターンについて考察する。	西暦偶数年度開講。02DH409と同一。要望があれば英語で授業
01DE410	言語情報論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	木2	人社A704	宮腰 幸一	春学期に引き続き、英語動詞の語彙概念構造とその統語的実現パターンについて考察する。	西暦偶数年度開講。02DH410と同一。要望があれば英語で授業
01DE417	異文化言語比較演習IA	2	1.5	1・2	春ABC	水3	人社A708	柳田 優子	日本語と英語など、言語間の比較研究をする上で、基礎となる言語学的知識を身につける。とくに、生成文法理論の枠組みで、言語を分析する方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DH417と同一。
01DE418	異文化言語比較演習IB	2	1.5	1・2	秋ABC	水3	人社A708	柳田 優子	言語類型論は歴史言語学の研究にとり重要な役割をもつようになってきている。このコースでは言語学の比較方法論の基礎的文献を読む。とくに、文法化、格システムや語順の変化などを中心に言語学の実証研究の方法論を学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DH418と同一。
01DE421	異文化言語習得論IA	2	1.5	1・2	春ABC	月2	人社A721	卯城 祐司	外国語として英語を学ぶ上で、文字言語情報をより正確かつ高度に処理するプロセスやその習得の解明を目指していく。特に読み手の知識や経験、関心、スタイルおよび認知的な要因が「読み」にどのような影響を与えているのか、読み手の心の中に生じているプロセスの分析を試み、リーディング能力の優劣はどのような要因から決定されるのかを探り、その応用としてリーディング能力獲得への英文読解指導方法を提言する。さらに、理論と実践研究にかかわる諸問題を考察していく中で、受講生が各自の問題意識を鮮明に持つよう討議を進め、外国語習得理論および英文読解理論の究明に寄与する実験研究の手法やリサーチデザインについて学んでいく。	西暦偶数年度開講。02DH421と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DE422	異文化言語習得論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	月2	人社A721	卯城 祐司	外国語として英語を学ぶ上で、文字言語情報をより正確かつ高度に処理するプロセスやその習得の解明を目指していく。特に読み手の知識や経験、関心、スタイルおよび認知的な要因が「読み」にどのような影響を与えているのか、読み手の心の中に生じているプロセスの分析を試み、リーディング能力の優劣はどのような要因から決定されるのかを探る。 さらに、その応用として語彙習得やリーディング・プロセス研究の成果を踏まえた英文読解指導方法を提言し、受講生がどのような教室場面においても、その指導法を具現化出来るような実践的な授業力を身につけることを目指す。またその過程で、受講生が各自の研究に活かせる実験研究の手法やリサーチデザインについて学んでいく。	西暦偶数年度開講。 02DH422と同一。
01DE425	異文化言語教育評価論IA	2	1.5	1・2	春ABC	金3	人社A704	平井 明代	リスニングとスピーキングの指導と評価について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DH425と同一。
01DE426	異文化言語教育評価論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	金3	人社A704	平井 明代	言語能力の伸びなどを測定する方法について、さまざまな中級レベル以上の分析方法を使って身に付けていく。	西暦偶数年度開講。 02DH426と同一。
01DE429	異文化言語教育教材論IA	2	1.5	1・2	春ABC	水3	人社A721	久保田 章	英語教育用教材の分析、評価、開発に関して、理論と実践の観点から多面的に考察する。特に、B. Tomlinson (2016)を中心に教材開発に関わる諸問題について議論する。	西暦偶数年度開講。 02DH429と同一。
01DE430	異文化言語教育教材論IB	2	1.5	1・2	秋ABC	水3	人社A721	久保田 章	異文化言語教育教材論IAの学修を基盤として、さらに英語学習教材の作成、開発、評価に関わる諸問題について多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。 02DH430と同一。
01DE453	異文化言語演習(1)IA	2	1.5	1・2	春ABC	木3	人社A721	磐崎 弘貞	毎週、課題を電子メールで提出し、それについて添削を受けたうえで、再提出をする。具体的には(a)アカデミックな文章の1節を取り上げ、その英訳を行う、(b)英語論文・本の1節を要約する、の2点を実践する。	西暦偶数年度開講。 02DH453と同一。
01DE454	異文化言語演習(1)IB	2	1.5	1・2	秋ABC	木3	人社A721	磐崎 弘貞	Students in this class simulate writing an academic paper by putting idea and research notes into organized sections and also by summarizing relevant materials in English. They also have a chance to practice making an academic presentation in assumed international conferences using PowerPoint slides in English.	西暦偶数年度開講。 02DH454と同一。
01DE457	異文化言語演習(3)IA	2	1.5	1・2	春ABC	火5	人社A707	住大 恭康	特定の状況・脈絡において使用されるドイツ語表現を分析し、その意味論的・実用論的機能を考察する能力を身につける。特に、機能語とされる表現が文内で果たす意味論的な機能について、他の類似的・相補的な表現と比較しながら検討する。	西暦偶数年度開講。 02DH457と同一。
01DE458	異文化言語演習(3)IB	2	1.5	1・2	秋ABC	火5	人社A707	住大 恭康	特定の状況・脈絡において使用されるドイツ語表現を分析し、その意味論的・実用論的機能を考察する能力を身につける。特に、実際に使用される表現を持つ、談話、およびテキスト構成における機能について、他の類似的・相補的な表現と比較しながら検討する。	西暦偶数年度開講。 02DH458と同一。
01DE461	異文化言語演習(4)IA	2	1.5	1・2	春ABC	水2	人社A721	佐々木 勲人	中国語の文法に関する論文を読み進めながら、中国語の諸現象について考える。問題設定の方法や分析の手順など、研究方法を学ぶこともこの授業の目的の一つである。	Humanities and Social Sciences: A721 西暦偶数年度開講。 02DH461と同一。
01DE462	異文化言語演習(4)IB	2	1.5	1・2	秋ABC	水2	人社A721	佐々木 勲人	中国語の文法に関する論文を読み進めながら、中国語の諸現象について考える。研究テーマをどのように設定するか、またそれをどのように分析していくかなど、研究方法を学ぶこともこの授業の目的の一つである。	西暦偶数年度開講。 02DH462と同一。
01DE477	異文化言語演習(2)IA	2	1.5	1・2	春ABC	火2	人社A704	小野 雄一	毎週指定したCALL、e-Learning研究に関する最近の文献を分担して発表する。それぞれの研究デザイン、システム構築、実践、評価がどのような形で行われているのかを理解し、実際の運用における課題、改善点を考察していく。	Classroom: Jinsya BLDG B601 西暦偶数年度開講。 02DH477と同一。
01DE478	異文化言語演習(2)IB	2	1.5	1・2	秋ABC	火2	人社A704	小野 雄一	毎週指定したCALL、e-Learning研究に関する最近の文献を分担して発表する。それぞれの研究デザイン、システム構築、実践、評価がどのような形で行われているのかを理解し、実際の運用における課題、改善点を考察する。さらに、実際の分析、運用に関するハンズオンを行っていく。	西暦偶数年度開講。 02DH478と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DE481	言語コミュニケーション論A	1	1.0	1・2	春AB	木3		井出 里咲子	文化社会的な場に埋め込まれた実践行為としてのコミュニケーションを、言語人類学の手法を通して解釈・記述する方法について学ぶ。授業では言語人類学、社会言語学の概論書および基本論文の講読をもとにを討議を行い、言語人類学研究の抱える問題意識について認識を深め、分析の視点と方法論についての知識を身につける。	01DQ080, 01DR736と同一。
01DE482	言語コミュニケーション論B	2	1.0	1・2	秋AB	木3		井出 里咲子	文化社会的な場に埋め込まれた実践行為としてのコミュニケーションを、言語人類学の手法を通して解釈・記述する方法について学ぶ。授業では言語人類学、社会言語学の概論書および基本論文の講読をもとにを討議を行い、言語人類学研究の抱える問題意識について認識を深め、分析の視点と方法論についての知識を身につける。	01DQ083, 01DR737と同一。
01DE483	相互行為論A	1	1.0	1・2	春AB	火5		高木 智世	様々な言語使用状況の中でも最も一般的で社会的活動の根幹を成す「日常会話」を、社会学者であるSacks, Schegloff, Jeffersonらによって創始され、開発された「会話分析」の方法で分析する視点を学ぶ。分析の構えや基本的概念についての講義、および、具体的な事例の分析を通して、「会話分析」の手法の基礎を身につける。	01DR734と同一。
01DE484	相互行為論B	2	1.0	1・2	秋AB	火5		高木 智世	様々な言語使用状況の中でも最も一般的で社会的活動の根幹を成す「日常会話」を、社会学者であるSacks, Schegloff, Jeffersonらによって創始され、開発された「会話分析」の方法で分析する視点を学ぶ。分析の構えや基本的概念についての講義、および、具体的な事例の分析を通して、「会話分析」の手法の基礎を身につける。	01DR735と同一。